

ボルテゾミブ療法を受ける患者さんへ

【患者さん用クリニカルパス】

ID: 患者氏名: 様 西6A 病棟 号室

日付	月 日 ()	月 日 ()
経過	ボルテゾミブ投与当日	退院日
	1病日	2病日
治療スケジュール	入院後準備ができ次第、ボルテゾミブを投与します。 	副作用症状がなく経過すれば退院となります。 
目標	予定どおり治療が終了する。	苦痛症状なく退院できる。
検温	入院後、検温、レントゲン、心電図検査があります。	1日2回検温を行います。 
処置・測定	医師の指示に応じて、心電図モニターを装着し、波形の観察を行います。 適宜検温し、バイタルサインの変動に注意しながら治療を進めていきます。 	退院が決まったら点滴ルートを抜去します。
説明・指導	ボルテゾミブの副作用症状について説明を行います。 	退院説明をおこないます。
食事	化学療法中、食欲がない時は食事内容の変更ができます。 希望があれば看護師に伝えてください。 	
内服・点滴	お薬がのみづらいときは変わりの注射や点滴をします。	
生活・行動	歩行は自由です 毎日シャワー浴を行いましょう。お体が辛いときは体拭きを行います。 感染予防のため手洗い・含嗽をしっかり行いましょう。	
その他	【抗癌剤の副作用症状について】 ・ボルテゾミブ 手足のしびれ →しびれが強い時はしびれ予防の薬をのみます。 必要時、身の回りの援助を行います。 	
	【その他の副作用症状】 ・悪心・嘔吐 → 制吐剤の投与、食事内容の変更、必要時栄養の点滴を行います。 ・口内炎 → うがい、歯磨きの指導を行います。必要時はうがいの水を変更します。 ・血球減少 ・白血球が低下すると、病原菌に対する抵抗力が低下し感染症を起こしやすくなります。 →感染予防について指導します。必要時、G-CSF製剤を投与します。 また、予防のため抗生剤の投与を検討します。 ・血小板が低下すると、鼻血やあざが多く見られます。→ 必要に応じて輸血を投与します。 ・赤血球が低下すると、めまいやふらつきが出現します。	

注) 予定は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくに従って変わることがあります。

岩手医科大学附属病院
血液腫瘍内科